

---

**++黒翼達の夜会++** Loneliness

s i z u y a 薬師

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

++ 黒翼達の夜会 ++ L o n e l i n e s s

### 【Nコード】

N 9 3 9 1 A

### 【作者名】

s i z u y a 薬師

### 【あらすじ】

戦場の中で、女は『孤独』だった。果てしなく続く戦友と敵の『死』の中で、女は何を思うのだろう。

## （前書き）

++ 注意 ++

この小説には、少々グロイ表現が含まれております。  
苦手な方は、ご遠慮することをお勧めいたします。

生きるために

私は強くなった

戦場に行つて

負けを認めたら

死を意味するから

がむしやらに

手に入れた力

私はいつの間にか

『孤独』

になつていた

\* \* \*

しばしの休息は、いつもつかの間に終わってしまう。

遠くもなく近くでもない、非常に微妙な距離から、爆発音とともに火薬の匂いがした。

女は起きた。

一見幼いが、身体に浮かぶ凹凸は見事で、非常に曖昧だが魅力的だ

った。

今はところどころ切り傷だらけだが・・・

そして、その手には女には似つかわしくない、銀色の装飾銃が握られていた。

目の前はうつそうとした密林が広がっており、匂いはその奥からした。

泥と密集した草木の間を、まるで野生の獣のように、静かにゆっくりと歩を進めていく。

やがて、爆心地と思われる場所にたどり着いた。

そこには、草木が焼けてできたクレーターと、おびただしい人の焼けた死体が数体あった。

その中に、知り合いはいない。

仮にいたところで、弔いも何もしてやれない。

女は胸の前で十字を切り、焼け焦げ異臭の漂う死体の口唇にそっ・・・と手を触れる。

( まだ、十分も経っていない )

女は辺りを慎重に見回し、銃を握り締め警戒する。

パキッ・・・

左斜め後ろから枯れ木の割れる音。

女は手に握り締めていた銃で、迷わず撃った。

「パン」と軽い音がし、数秒後にそれは地に伏した。

叫ぶ暇なく殺したのは、まだ小学生になるかならないかの年頃の少年だった。

少年の顔は苦痛にゆがみ、もみじのような小さな手には手榴弾が握り締められていた。

戦争は必ず多くの犠牲を出す。

それが悲しく。

それを止めることもできない自分が憎い。

答えを教えてよと本気で願ったのに

今だに出ない。

「ごめんね」

女がそう呟くと、ぽつんと水滴が頬を叩き、やがてそれは途切れ  
ない連打へと変わった。

+ + e n d + +

## （後書き）

ただ単に、戦争がもたらす悲しみを書きたかっただけの小説です。

この小説のキャラクターはいつの日かわかりませんが、連載小説に再度登場します。

見ていただけるとありがたいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9391a/>

---

++黒翼達の夜会++ Loneliness

2010年10月10日05時53分発行